

東北土を考える会 総会・研修会を開催しました

2025年2月26日

東北土を考える会は、2月13日(木)、14日(金)の二日間、岩手県花巻市の「渡り温泉 ホテルさつき」にて研修会・総会を開催しました。当日は、東北土を考える会会員と一般参加の生産者、企業、事務局合わせて82名が集まりました。



和田美由紀氏

今回の研修会のテーマは「そろそろ緑肥の時代到来か?」と題し、雪印種苗株式会社 事業統括室 種苗グループ 係長 和田美由紀氏に「緑肥作物の上手な活用方法」の講演をしていただきました。主に、緑肥作物の効果の一つである土づくりについてや、緑肥種類による効果の違い、各ほ場の目的に合わせた緑肥や機械の選定、導入事例を交えて情報提供いただきました。

続いて、スガノ農機株式会社 北海道支店長 佐藤準士氏に「緑肥作物の鋤き込みについて」講演いただきました。緑肥を使い、プラウで鋤き込む土づくりを実際に行っている2人の農家さんを紹介していただきました。30～45cmの深耕にこだわりをもち、緑肥を最大限に活用し、地力の増進・維持に努めている吉本農場様の事例と、20cm前後の特注プラウで緑肥を浅くキレイに鋤き込み、分解を早く進ませる天心農場様の事例を情報提供いただきました。



佐藤準士氏



清水会長

その後、清水会長がファシリテーターとなり、パネラーとして和田美由紀氏、佐藤準士氏そして、スガノ農機のプラウマイスター下村剛氏の3名が登壇し、緑肥の種類や処理の方法で組み合わせが多くあることなど、活発な意見交換が行われました。さらに9月に行われる夏の研修会は、実際のほ場で緑肥について研修会を開催したいと計画していることが発表されました。

情報交換会は、じゃんけん大会で景品を用意し、大いに盛り上がり、その後4次会の深夜まで活発な意見交換が行われました。14日に行われた総会では、役員改選が行われ、県幹事の変更はありましたが、会長・副会長ともに続投となりました。最後に、土を考える会の新規入会者からコメントをいただき、閉会しました。



ディスカッションの様子



総会の様子

2025 東北土を考える会 総会・研修会



懇親会の様子



白熱のじゃんけん大会



2次会の様子